



Iwakuni City Topics
 まちの話題

第11回
 錦帯橋ロードレース大会

3月5日、「錦帯橋ロードレース大会」が開催され、35都道府県から4381人のランナーがエンターしました。

参加者はハイフマラソン・10km・5km・2kmの4種目を一般男女やファミリーなど計26部門に分かれ、錦川をそよぐ早春の風を感じながら、錦帯橋周辺をスタート・フィニッシュとするコースを駆け抜けました。

沿道からは「頑張れ」「ファイト」と声援が送られ、懸命に走るランナーを後押ししていました。

大会本部近くのメイン会場では、おもてなしとして地元特産品などのブースが設けられ、選手や見物客にぎわっていました。





中山湖周辺を快走！

2月12日、「第23回しゅうとう中山湖健康マラソン大会」が開催され、422人の参加者が自然豊かな中山湖周辺を快走しました。

今年はゲストランナーにアトランタオリンピック出場の浅利純子さんを迎え、参加者はアドバイスを受けたり、交流を深めたりすることができ、貴重な機会を喜んでいました。



保育園に鬼がやってきた！

節分の2月3日、美川保育園に鬼がやって来ました。例年は保育士が鬼役をしていますが「先生、いるなあ～」と子供たちは周りをキョロキョロ。今年は美川支所職員が鬼として登場してビックリ。怖かったのか、小さな声で「鬼は外！」と言いながら、新聞紙で作った豆を皆でまきました。

Iwakuni City Topics | まちの話題



歌と話を聴いて元気になろう！

2月13日、由宇文化会館で、兄妹ユニット「マウンテンマウス」の兄、まーしいこと中谷昌史氏を講師に迎え、合同講座「なんてすばらしい今日だろう！」が開催されました。まーしいさんは歌やダンスなどを交えて、人権をテーマに人とのつながりの大切さを語り、参加者は楽しく心温まる時間を過ごしました。



災害から自分と家族を守るには

2月15日、玖珂中学校で玖珂地域自主防災会による「防災教育講座」が行われました。参加した2年生91人は、災害が起きたときに自分自身と家族を守るためにはどうしたらいいか、地域とのつながりがいかに大切かを学びました。災害対応のシミュレーションゲームや非常食の試食も体験し、防災に関する知識を深めました。



「おとなを感じる」塗り絵の魅力

2月16日、本郷ふるさと交流館で「おとなの塗り絵講座」が開催され、14人が参加しました。

受講者は、見本の絵にどんな色が隠れているか想像しながら、濃淡を付けて色を重ねていき、見本通りの色を作る達成感を楽しんでいました。自分のペースで取り組めるため「癒される」「ストレス発散になる」と好評でした。



ふるさとの味を学ぶ

2月15日、阿賀ふれあいセンターで、美和町内の各農事法人組合の女性部で結成する、あぐりがーる美和が「加工研修会」を開催しました。今回は手作りこんにゃくと押し寿司を作り、皆で試食。参加者は「自分の地域と違う作り方をするとこるもあり、良い刺激になる」と楽しく交流していました。



春を告げるセツブンソウを観察

2月16日、錦町広瀬地区の日本西南限のセツブンソウの自生地、観察会が行われました。錦清流小学校4・6年生が、ガイドの説明を聞き、じかに花に触りかわいらしい花を観察しました。普段は見学できませんが、2月17日～19日の間は錦川清流線利用者を対象に公開され、211人が訪れました。



親子で作って楽しんで

3月5日、高水高等学校体育館で「Iwatan^{いわたん}親子フェスタ」が開催されました。

親子が触れ合う遊び広場として岩国短期大学の学生が主体となって企画・実施し、訪れた親子はダンボールハウス色塗りコーナーや巨大迷路、粘土あそびなど、盛りだくさんのブースを楽しんでいました。